

様式第7号（用紙 日本産業規格A4縦型）

- ・提出日を記載してください。
- ・提出期限は、事業完了日から30日以内又は、4月10日のいずれか早い日までとなります

実績報告書

第 号

令和8年○月×日

静岡県知事 鈴木 康友 様

- ・法人は、履歴事項全部証明書の本店所在地を記載してください。
- ・個人事業主は、住民票の住所を記載してください。

- ・法人は、会社名及び代表者の職氏名を記載してください。
- ・個人事業主は、「名称」欄に「屋号」、「代表者」欄に「代表者氏名」（例：代表 静岡 太郎）と記載してください。

所在地 静岡市葵区追手町9-7
名称 静岡××部品株式会社
代表者 代表取締役 静岡 一郎

令和7年○月×日付け商振第□号-△により補助金の交付の決定を受けた中小企業等収益力向上事業（米国関税対応枠）が完了したので、関係書類を添えて報告します。

（注） 法人その他の団体にあっては、以下の項目についても記載すること。

責任者 職・氏名
作成者 職・氏名

代表取締役 静岡 一郎
××係長 静岡 二郎

法人その他の団体の場合に記載
※個人事業主の場合は記載不要

交付決定通知に記載された日付
と文書番号を記載してください。

商振第□号 - △
令和7年○月×日

静岡××部品株式会社
代表取締役 静岡 一郎 様

静岡県知事 鈴木 康友

補助金の交付決定について

令和7年×月×日付けで申請があった令和7年度中小企業等収益力向上事業費補助金（米国関税対応枠）の交付について、次のとおり決定します。

1 事業実績書(様式第8号)の作成について

作成にあたり、交付決定を受けた際の事業計画書(様式第2号)をご用意ください。

様式第8号

事業実績書

事業実績書(実績報告様式)

中小企業等収益力向上事業(米国関税対応枠)

1 補助事業の内容

(1) 補助事業の実施内容

【テーマ名】 **β加工技術を活用した強耐久性Aの試作・改良**

区 分	内 容
米国関税措置の影響	令和7年7月に株式会社X自動車から、納品予定であったネジ・ボルトの納品をそれぞれ30%減らすように要請があった。このことにより余剰在庫が発生している。
目 的	β加工技術を活用した強耐久性Aの試作・改良を行う。
実 施 時 期	令和7年10月20日から令和8年3月20日
担 当 者 (実施体制)	静岡 二郎 (Z農機具株式会社 駿河氏から助言を受けて実施)
取 組 内 容	①Aの製作について、社内開発部にプロジェクトチームを設置。また、Z農機具株式会社の技術コンサルタントである駿河氏から助言を受け、トラクターやコンバイン製造に向けた商品となるように改良を実施。 ②試作品作成後にZ農機具株式会社内の材料強度測定器を用いて、耐久性の検証を行い、試験結果の分析を実施。 ③分析結果を踏まえて、試作品を改良。強耐久性Aを完成させた。
成 果	β加工技術を活用した強耐久性Aを完成させることができた。

(2) 補助事業における目標の達成状況

目標の達成状況を記入
(「達成」又は「未達成」)

目標	達成状況
β加工技術を活用した強耐久性Aの完成	達成 未達成の場合には、今後達成に向けてどのように取り組むかについて併せて記入

(3) 実施場所

自社内 ← 事業実施場所を記入

(4) 実施期間

令和7年10月20日から令和8年3月20日

2 補助事業の進捗状況(翌年度以降の計画も含む)

	計 画	実 施 状 況
1年目	自社のβ加工技術を活用して、強耐久性Aを完成させる。	自社のβ加工技術を活用して、強耐久性Aを完成させることができた。
2年目	Aの農業用機械への導入試験実施・産業フェア出展	
3年目	産業フェア出展 本格的な販売開始	

交付決定後に計画変更の申請を行い、承認を受けている場合には、変更後の事業計画書に基づいて、事業実績書を作成してください。

様式第2号

事業計画書

事業計画書(交付申請様式)

中小企業等収益力向上事業(米国関税対応枠)

1 補助事業の概要

自社のβ加工技術を活用して、強耐久性Aを完成させる。

2 補助事業の具体的内容

(1) テーマ名 **β加工技術を活用した強耐久性Aの試作・改良**

区 分	内 容
米国関税措置の影響	令和7年7月に株式会社X自動車から、納品予定であったネジ・ボルトの納品をそれぞれ30%減らすように要請があった。このことにより余剰在庫が発生している。
目 的	β加工技術を活用した強耐久性Aの試作・改良を行う。
実 施 時 期	令和7年10月20日から令和8年3月20日
担 当 者 (実施体制)	静岡 二郎 (Z農機具株式会社 駿河氏から助言を受けて実施)
取 組 内 容	①Aの製作について、社内開発部にプロジェクトチームを設置する。また、Z農機具株式会社の技術コンサルタントである駿河氏から助言を受け、トラクターやコンバイン製造に向けた商品となるように改良する。 ②試作品作成後、Z農機具株式会社内の材料強度測定器を用いて、耐久性の検証を行い、試験結果の分析を行う。 ③分析結果を踏まえて、試作品を改良し、強耐久性Aを完成させる。
成 果 目 標	β加工技術を活用した強耐久性Aの完成

(2) 補助金の交付を受けた実績(過去5年間実績を記入)

年度	補助金名	補助金交付者	実施した補助事業の内容及び成果
R4	技術開発補助金	静岡県	β加工技術開発のための機械の導入を行った。

(3) 補助事業の実施日程(開始予定日及び完了予定日)

開始予定日	完了予定日
令和7年10月20日	令和8年3月20日

(4) 補助事業における目標

目 標
β加工技術を活用した強耐久性Aの完成

経費は税抜で記入

3 経費の積算明細

事業実績書(実績報告様式)

経費区分	積算の明細	補助事業に 要する経費	補助対象 経 費	補助金 申請額	備 考
専門家謝金	助言 50,000 円×8 回 400,000 円 (内訳) ・商品改良への助言 8 回	円 400,000	円 400,000	円 810,000	
専門家旅費	静岡⇄名古屋 6,250 円×2(往復)×8 回 100,000 円	円 100,000	円 100,000		
原材料費	B 0.4 k g 250,000 円 C 20,000 円×3 缶 60,000 円	円 310,000	円 310,000		
機械装置費	簡易耐久性測定装置 2,000,000 円	円 2,000,000	円 810,000		
合 計		円 2,810,000	円 1,620,000	円 810,000	

【機械装置費の計上がある場合】
機械装置費以外の経費の合計額（今回事例では、専門
家謝金、専門家旅費、原材料費の合計 810,000 円）が
機械装置費の経費額以下の場合、機械装置費以外の経
費の合計額が補助対象経費の最大額になります。

補助対象経費×1/2(千円未満切捨)を自動計算
※交付決定額が上限になります。

対応する実績を記入

3 経費の積算明細

事業計画書(交付申請様式)

経費区分	積算の明細	補助事業に 要する経費	補助対象 経 費	補助金 申請額	備 考
専門家謝金	助言 50,000 円×8 回 400,000 円 (内訳) ・商品改良への助言 8 回	円 400,000	円 400,000	円 1,000,000	
専門家旅費	静岡⇄名古屋 6,250 円×2(往復)×8 回 100,000 円	円 100,000	円 100,000		
原材料費	B 0.6 k g 400,000 円 C 20,000 円×5 缶 100,000 円	円 500,000	円 500,000		
機械装置費	簡易耐久性測定装置 2,000,000 円	円 2,000,000	円 1,000,000		
合 計		円 3,000,000	円 2,000,000	円 1,000,000	

2 収支決算書(様式第3号)の作成について

作成にあたり、収支予算書(交付申請様式第3号)及び事業実績書(実績報告様式第8号)をご用意ください。

交付決定後に計画変更の申請を行い、承認を受けている場合には、変更後の収支予算書に基づいて、収支決算書を作成してください。

様式第3号

経費は税抜で記入

収支決算書(実績報告様式第3号)

収支予算書及び事業実績書から該当箇所の転記等により作成してください。

収支決算書

1 収入の部

「計」－「県費補助金」の値を自動計算

区 分	決 算 額	予 算 額	比 較		備 考
			比 増	△ 減	
	円	円	円	円	
県費補助金	810,000	1,000,000	0	191,000	
自己負担	2,000,000	2,000,000	0	0	
計	2,810,000	3,000,000	0	191,000	

転記

予算額と決算額を比較した増減額を自動計算

2 支出の部

区 分	決 算 額	予 算 額	比 較		備 考
			比 増	△ 減	
	円	円	円	円	
専門家謝金	400,000	400,000	0	0	
専門家旅費	100,000	100,000	0	0	
原材料費	310,000	500,000	0	190,000	
機械装置費	2,000,000	2,000,000	0	0	
計	2,810,000	3,000,000	0	191,000	

転記

予算額と決算額を比較した増減額を自動計算

自動転記

自動転記

自動転記

様式第3号

収支予算書(交付申請様式第3号)

収支予算書

1 収入の部

区 分	予 算 額		比 較		備 考
			比 増	△ 減	
	円	円	円	円	
県費補助金	1,000,000				
自己負担	2,000,000				
計	3,000,000				

2 支出の部

区 分	予 算 額		比 較		備 考
			比 増	△ 減	
	円	円	円	円	
専門家謝金	400,000				
専門家旅費	100,000				
原材料費	500,000				
機械装置費	2,000,000				
計	3,000,000				

様式第8号

事業実績書(様式第8号)

事業実績書

3 経費の積算明細

経費区分	積算の明細	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助金申請額	備 考
		円	円	円	
専門家謝金	助言 50,000円×8回 400,000円 (内訳) ・商品改良への助言 8回	400,000	400,000	810,000	
専門家旅費	静岡⇄名古屋 6,250円×2(往復)×8回 100,000円	100,000	100,000		
職員旅費	B 0.4kg 250,000円 C 20,000円×3缶 60,000円	310,000	310,000		
機械装置費	簡易耐久測定装置 2,000,000円	2,000,000	810,000		
合 計		2,810,000	1,620,000	810,000	